

207<sup>th</sup> Lambuth Chapel Concert

# Violin Sonatas

of classical period

古典派 二重奏曲の系譜

エマヌエル・バッハ、ハイドン、モーツァルト — “二重奏”をめぐる  
18世紀の地殻変動に、国境を超えたデュオがピリオド・アプローチで迫る！

ULLA BUNDIES ウッラ・ブンディース (ヴァイオリン)

TAIJI TAKATA 高田泰治 (ピアノフォルテ)



**Thu. 20 April 2017** 2017年4月20日 (木)

**17:30pm start** 17:30開演 (17:00開場)

**Kwansei Gakuin** 関西学院ランバス記念礼拝堂

**Lambuth Memorial Chapel**

Admission Free <入場無料> 関西学院宗教センター TEL 0798-54-6018

## 第 207 回ランバス演奏会

「ランバス演奏会」は 1961 年から関西学院の学生、生徒、教職員はじめ、地域住民の方々に親しまれて参りました。今回は、テレマン室内オーケストラの首席客演コンサートマスター、ウッラ・ブンディースさんと、以前 200 回記念演奏会でバッハの「ゴールドベルク変奏曲」を弾いていただいた高田泰治さんにご登場いただきます。礼拝堂に響くデュオの音色をたっぷりお楽しみください。

演目：C.P.E.バッハ: シンフォニア 二長調 Wq74  
W.A.モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ ト長調 Kv9  
F.J.ハイドン: ヴァイオリン・ソナタ ト長調 Hob.XV:32  
C.P.E.バッハ: ヴァイオリン・ソナタ 変口長調 Wq77  
W.A.モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ 二長調 Kv306  
※曲目は変更になる場合がございます。

## Ulla BUNDIES ウッラ・ブンディース

1959 年、南アフリカのサマーセット・ウェスト生まれ。ドイツで育ち、ハノーヴァー音楽大学で学ぶ。現在、古楽演奏における重要なバロック・ヴァイオリン奏者の一人である。C.ショルンスハイム、A.シュタイアーなど数多くの音楽家と共演するとともに、1984 年に設立されたハノーヴァーのバロック・アンサンブル Musica Alta Ripa ではソリストとして長く活躍。このアンサンブルとは 25 枚以上の CD を収録しているが、なかでも J.S.バッハの《イ短調ヴァイオリン協奏曲》がカンヌ国際レコード見本市において「ソロ協奏曲部門」レコード大賞 Cannes Classical Award を受賞した。創立 20 周年を迎えた 2004 年には 9 月に国立ハノーヴァー歌劇場で舞台作品を上演。また 1987 年設立の声楽アンサンブル Cantus Cölln ともたびたび共演し、2003 年にハルモニア・ムンディ・フランスから発売された録音はドイツ・レコード批評家賞を受賞している。翌 2004 年、ウィーンのレゾナンツェン古楽音楽祭ではソリストとして成功を収めた。他にも、1999 年設立の古楽団体 Saarbrücker Ensemble Parlando ではコンサートマスターとして、2002 年設立の古楽器による四重奏団 Hoffmeister Quartett や、名声ある室内楽団 Les Adieux でもメンバーとして長年活動している。演奏活動はヨーロッパ諸国、イスラエル、オーストラリア、中南米、アメリカ合衆国、中国、東南アジアに及び、数年前からはソリストとして日本でも定期的に演奏。2010 年夏より、日本テレマン協会のミュージック・アドバイザーを務め、2012 年春よりテレマン室内オーケストラの首席客演コンサートマスターに就任。



## 高田泰治(たかた たいじ)

2002 年神戸新聞松方ホールにてテレマン室内オーケストラとともにピアノ、フォルテピアノ、チェンバロのそれぞれの協奏曲を一夜で演奏するという公演にてデビュー。フォルテピアノのソロ活動としては 2010 年 NHK「クラシック倶楽部」にてモーツァルト作曲ピアノ協奏曲 第 12 番をフォルテピアノで好演し話題となる。また同年 4 月よりモーツァルト作曲の 1 台のためのピアノ協奏曲全曲を 3 年のスパンで演奏するシリーズを開始し注目を集める。2012 年 6 月 24 日 NHKFM「リサイタル・ノヴァ」で、モーツァルトほか C.P.E.バッハの作品を好演。現在はバロックヴァイオリンの U.ブンディースとデュオを結成しドイツでも演奏活動を展開中。2014 年、ポツダムでの公演は「軽やかな手首の動きで流れ落ちる滝のごとく、はじけ滴る雫のごとくまた時には滔々と流れる大河のごとく銀色に煌めく音を生み出してゆく。」(Potsdamer Neueste Nachrichten 誌)と評された。フォルテピアノとチェンバロを C.ショルンスハイムに師事。また 2012 年より A.シュタイアーに、2013 年より O.ポーモンに師事。2013 年 4 月には U.ブンディースとのデュオの CD をリリース。平成 23 年度坂井時忠音楽賞受賞。2014 年には中之島中央公会堂(大阪市)にて、ベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲公演(全3夜)を好演。2015 年、U.ブンディースとの 2 枚目のデュオと、フォルテピアノ・アルバムをリリース。